

エゾ鹿が拓く 新地域産業

～エゾ鹿革の可能性を探る～



近年、食肉としての利活用が進んでいるエゾ鹿ですが、今回は、ほとんど活用が進んでいない「革」としての可能性を検討します。革製品の製造メーカーでは円安や物価高で牛革を含めて海外からの輸入が年々難しくなっている中、年間数千頭規模の捕獲があるひがし北海道のエゾ鹿を革として利活用するための課題と展望を本例会では探っていきます。

日時

7/18 Thu
15:00-17:00

**釧路センチュリー
キャッスルホテル**

ゲストスピーカー

**大矢
雄生**

有限会社オオヤ（兵庫県姫路市）代表取締役。大正時代創業の大矢製革所の社長も務め、革の製造、加工、販売を一貫して行ってきた。

ゲストスピーカー

**中村
泰久**

株式会社 エトールナカムラ（兵庫県西宮市）代表取締役。大矢製革所の技術顧問も務め、日本の皮革分野のエキスパート。

ゲストスピーカー

**曾我部
元親**



北泉開発株式会社（釧路市阿寒町）代表取締役。2004年より養鹿事業を展開し、良質な鹿肉を安定的に全国のホテルやレストランへ販売している。

ゲストスピーカー

**加藤
幸治郎**

株式会社ムラカミ（札幌市）経営企画室 担当部長。前職はソメスサドルで営業部長を務め、現職では危機管理用品商社で様々な商品の企画開発に携わっている。

コーディネーター

**佐藤
公一郎**



株式会社山一佐藤紙店（釧路市）代表取締役。ソメスサドルの革製品を20年に亘り販売。鹿革を使った商品製作やワークショップにも取り組み、鹿革活用の可能性を探っている。

オブザーバー **株式会社馬木葉**

白糠町でエゾ鹿の捕獲、解体、食肉の加工販売を行い、全国約1000店舗へ供給している。

主催 釧路新産業創造研究会

〒084-0912

北海道釧路市星が浦大通1丁目7-1
サンエス電気通信株式会社内

お申込み
はこちら

FAX0154-53-3969

別紙の申込書よりFAXにてお申し込みください。

令和6年6月吉日

釧路新産業創造研究会 会員各位

釧路新産業創造研究会
会長 宮田 昌利

「釧路新産業創造研究会」第8回研究会 開催のご案内

小夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より、当研究会の活動に対しご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第8回目の研究会を下記の日程にて開催するはこびとなりました。
近年、エゾ鹿の食肉としての利活用が進んでおりますが、今回はほとんど活用が進んでいない「革」としての可能性を検討します。年間数千頭規模の捕獲があるひがし北海道のエゾ鹿を革として利活用するための課題と展望を本例会にて探っていきます。

ご多忙中の折、大変恐縮でございますが、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、出欠につきましては、7月8日（月）までに別紙FAX連絡票にて事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

記

- ・ 日 時 令和6年7月18日（木） 15：00～17：00
- ・ 場 所 釧路センチュリーキャッスルホテル 3階 孔雀の間
釧路市大川町2番5号
- ・ 研究会 「エゾ鹿が拓く新地域産業～エゾ鹿革の可能性を探る～」
講師：
曾我部 元親 氏 -- 北泉開発株式会社 代表取締役
大矢 雄生 氏 -- 有限会社オオヤ 代表取締役
中村 泰久 氏 -- 株式会社エトールナカムラ 代表取締役
加藤 幸治郎 氏 -- 株式会社ムラカミ 経営企画室 担当部長
佐藤 公一郎 氏 -- 株式会社山一佐藤紙店 代表取締役
- ・ 懇親会 17：30頃より 釧路センチュリーキャッスルホテル 1階
「YUUYOO TERRACE KUSHIRO (ユーヨーテラス クシロ)」
会費6,000円

F A X 連 絡 票

送 付 先	サンエス電気通信(株) 猪狩 あて F A X 0 1 5 4 - 5 3 - 3 9 6 9
-------------	--

研究会に 出席します 欠席します

懇親会に 出席します 欠席します

会社名 (団体名)	
研究会出席者 職・氏名	
懇親会出席者 職・氏名	<input type="checkbox"/> 同上
T E L	
F A X	
mail	
備考	※連絡事項がありましたらご記入願います。

お問い合わせ先：釧路新産業創造研究会 事務局
サンエス電気通信(株) 今村、岡崎、猪狩
Tel : 0154-51-2924 Fax : 0154-53-3969